

広島市議会議員 (安佐北区)

山内まさあきの市議会通信

〈発行〉

山内まさあき

(所属会派：市民連合)

安佐北区口田3-7-19
TEL 082-843-1972
FAX 082-843-1986



バス置き去り事故の再発防止を！

出産育児支援金、

学校の感染対策など補正予算可決

支援いただいている皆様により感謝申し上げます。私の市議会報告書を作成しましたので、ご一読いただけますと幸いです。

送迎バス安全装置補助予算可決

広島市議会では12月定例会を開きました。5日から15日まで

12月定例会では主に国の決定を受けて「出産育児支援金」や「こどもの送迎バスの安全装置の補助」などの予算を審議、可決しました。送迎バスの安全装置は国によって義務化の方針が出されており、それにもなう補助予算です。

12月議会の時点では、具体的な仕様が決まっておりませんが、詳細が決まり次第、迅速に設置を進めていただきたいと求めています。

動検出センサー」などが国のほうで検討されています。そのほか、学校の感染対策、出産育児支援金など国の決定に基づく予算が審議可決されました。それぞれ予算額など詳細については、左記をご参照ください。

<主な12月補正予算>

- ①学校の感染対策（保健衛生用品や換気対策費）→4814万円
- ②出産育児支援金の支給→10億3433万円（新生児一人あたり10万円+事務費）
- ③子どもの送迎バスの安全装置設置補助→5700万円（1台あたり上限18万円）

<③の内訳>

- ・特別支援学校バス:846万円(47台)
 - ・障がい児通所支援事業所バス:3600万円(200台)
 - ・保育園バス:1296万円(72台)
 - ・こども療育センターバス 180万円(10台)
- ※私立幼稚園の送迎バスは県費で措置される予定

<陳情採択>

「私学助成の拡充を求める陳情」を採択

私立学校の教具費補助や部活動パワーアップ補助、就学支援などを県市が助成していますが、毎年、市議会では私立学校のPTAさんや関係団体からの要望をいただき、増額を求める陳情を全会派一致で採択しています。



通算12回目の一般質問に登壇
この度の議会で私は一般質問に登壇しました。裏面に主要旨を記載しています。ぜひご一読ください。

公共交通（バス）の上下分離

質問・山内

公共交通事業者の経営は年々厳しくなり、コロナの影響もあって、コロナ前と比べると営業収入は約8割程度になっている。このままでは、不採算路線は減便や廃止になると危惧する。

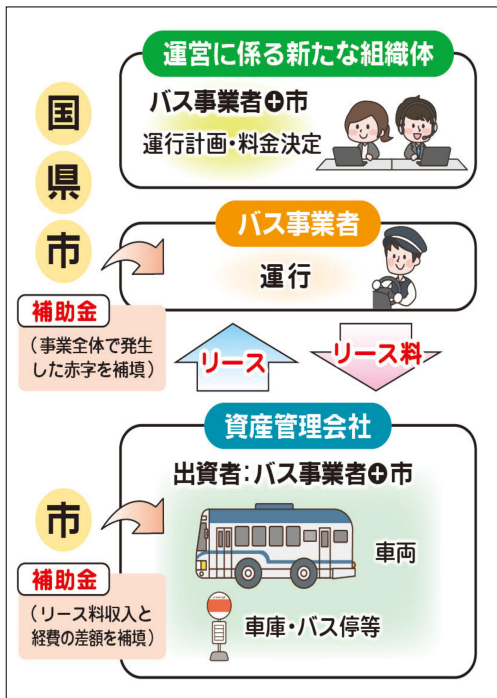
そうした中、広島市はバス路線の「広島型上下分離方式」の導入を目指している。この上下分離方式について目指すものは何か、市長の考えをお尋ねする。

答弁・市長

公共交通は市民や来訪者の輸送を支えるものである。公共交通を支えることは基礎自治体の重要な責務であると考えている。

本市がめざす「上下分離方式」は、バス事業者と市が共同運営のための組織を立ち上げ、利用者目線でのサービスの向上や路線の全体最適化を図っていくものである。国・県・市が財政支援を行うことで、持続可能なバスサービスの実現を図ることを目指している。

「上下分離方式(バス)」のイメージ



「山内まさあきの思い」

前号でも紹介しましたが、広島市では全国初の「バスの上下分離方式」へ検討が進んでいます。上下分離方式とは簡単に言えば、バス車両やバス停などは市が保有・維持管理し、バス会社は運行だけを担う方式です。市議会内には「多額の税金を投入すべきか？」という論調も一部ありますが、ある程度、税金が投入された結果、路線や便数が維持されたり、運賃が抑えられるのであれば、結果、住民の利便性に還元されるものと考えます。

例えば、広島駅〜紙屋町間は「日本一バス便が多い」ともいわれる超過密路線ですが、一方で中山間地域には1日2〜3便しかバスの便数がないところや、そもそもバスが走っていない地域があります。こうした格差がある程度、調整していくことを市長は「全体最適化」と表現していると考えます。

子どものための施設誘致

質問・山内

キ ャザニアやアンパンマンこどもミュージアムなど、「子どもが楽しめる集客型施設が広島市周辺には少ない」という意見が市民の中にある。こうした施設は、東京、名古屋、大阪、福岡などいわゆる大都市に集中しているのが現状である。

そうした中、本市とほぼ人口規模が同じ政令市の仙台市では、広域産業誘致補助金を設けて民間の水族館などが進出しているほか、アンパンマンこどもミュージアムの誘致にも成功している。本市でも、子ども向けの施設の誘致に取り組んではどうか。

誘致は、本市への来訪者や市内での消費拡大を見込むことができることも、本市の魅力を高めることができる有効な手法の一つである。一方で、こうした集客型施設の運営が持続されるためには、交通利便性や都市基盤整備が整っていることが重要な前提条件である。

まずは、検討を進めるにあたり、他都市における広域型集客産業の立地動向や公的支援の効果などについて情報収集を行う。

「山内まさあきの思い」

例 えば、仙台市では行政と民間が共同で取り組み、2011年にアンパンマンこどもミュージアムの誘致に成功しました。現在も年間約50万人が訪れている施設として、多くの家族連れでにぎわっているそうです。広島市にも子どもが安心して遊べる施設が欲しいですね。

答弁・経済観光局長

議員がいわれる「子ども向け集客施設」の

誘致は、本市への来訪者や市内での消費拡大を見込むことができることも、本市の魅力を高めることができる有効な手法の一つである。一方で、こうした集客型施設の運営が持続されるためには、交通利便性や都市基盤整備が整っていることが重要な前提条件である。まずは、検討を進めるにあたり、他都市における広域型集客産業の立地動向や公的支援の効果などについて情報収集を行う。

悩みをかかえる 児童・生徒の支援

質問・山内

本市では「ヤングケアラ」の実態調査を、市内の小中学生を対象に今年度、実施している。この調査結果についてどのような取り組みをしているのか。

答弁・教育長

立の小学5・6年生と中・高校生、5万1000人を対象にタブレットを活用して調査を行った結果、現在40件が「ヤングケアラ」として把握されている。スクールソーシャルワーカーとの連携など必要な支援を行う。

質問・山内

不登校の児童・生徒を支えるために、民間のNPOやボランティア活団体が支援を行っているが、こうした団体の活動について、

て、広島市がもつと情報発信するべきだと考えるが、どうか。

答弁・教育長

リースクールやNPOなど支援団体が年々増加しており、各学校を通じて、情報提供を行うなど、連携強化に取り組んでいく。

「山内まさあきの思い」

私

もボランティア団体さんの活動に参加させていただき、とても感謝を受けました。課題は団体の活動内容が子どもや保護者になかなか知られていないこと。行政は情報発信を強化し、市民に広く知っていただくことが大事だと思います。



不登校の子どもを支援する団体の芋ほり体験

子どもや障がい者が 使いやすい図書館に

質問・山内

市内の各区には、1カ所ずつ図書館が整備されているが、視覚障がい者を含むすべての障がい者が利用しやすい図書館にしたい。

本

これは「視覚障がい者が本を読まない」のではなく、「本を読みたいけれども、アクセスができない」のが大きな理由である。視覚障がい者も文化的な生活を求めているが、社会的な整備の遅れがそれをばねんでいる。本市の考えはどうか。

答弁・市民局長

図書館整備においては、今後、障がい者団体のご意見もしっかりお聞きし、障がい者が快適かつ安全に利用していただけるよう

うに環境整備を行う。

質問・山内

山間地域や郊外団地では、図書館に行こうにも「車がないと行けない」ところが多い。本来、子どもたちが独力で図書館を利用できるように、移動図書館の巡回エリアの拡大が必要だ。また、安佐北区のように面積が広い行政区には、図書館は1カ所では足りず、分館が必要であり、高陽に図書館の分館整備を要望する。もちろん、公民館の図書室はより充実しなければならぬ。本市の考えをお尋ねする。

中

質問・市民局長

移

動巡回車「ともはと号」については、今後巡回場所の充実を図っていく。また、公民館内の図書室や集会所内の地域文庫の利便性の拡充を図っていき

「山内まさあきの思い」

左

の写真は広島市が実施している巡回図書車「ともはと号」です。中山間地域までは配車されていませんが「中山間地域まで来てほしい」と私は求めています。子どもたちが図書にふれる機会を拡げることが大切だと思います。



約2000冊の図書を積んで図書室がない地域を巡回する「ともはと号」

その他の質問

核兵器廃絶を目指し「平和首長会議総会の成果や「中小田古墳群など安佐北区の歴史資産の保存と活用」を一般質問で取り上げました。

地域の皆様とともに取り組んでいます。（一例をご紹介します）

可部線跡地（布～油木地区） 避難路整備

可部線の廃線敷を活用した避難路整備が取り組まれています。



安芸矢口駅バリアフリー化工事が進められています。



2024年11月完成予定で進められています。写真は安芸矢口駅の工事完成イメージです。

2018年豪雨災害復旧工事



災害から4年余りが経過していますが、復旧工事が未完成的箇所があります。引き続き取り組んで参ります。（写真は狩留家の湯坂川と堀田奥川の様子）

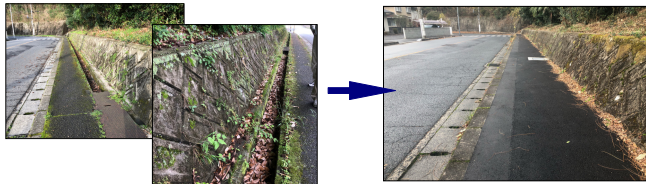
安芸矢口駅前道路（矢口安古市線整備）

安芸矢口駅前の3車線化と歩道拡幅工事が地元のご協力を得て着工。間もなく完成予定です。



下深川駅前の歩道整備

歩道のそばの側溝を改良し、約200メートルほど、歩道拡幅を区役所に実施していただきました。



白木町・小越交差点の表示改良



小越の交差点（広銀前）の通行量が激増し、児童の通学時の安全確保が懸念されています。応急対策として舗装改善を区役所に実施していただきました。



亀崎県営住宅法面補強と歩道修繕

法面の重みで歩道が大きく歪んでおり、補強工事と歩道修繕を県に実施していただきました。



いたします。ご支援もよろしくお願ひいたします。

駅のトイレはJR所有の施設とはいえ、広島市も対応案を考えてほしいと思います。そのためにも「バスだけでなくJRも含めた上下分離方式の導入もぜひ進めたい」と考えます。地域の皆様のご支援もよろしくお願ひいたします。

公共交通（電車・バス）は学生にとっても重要です。特に、トイレや定期券の券売機は切実なことであり、最低限必要な整備といえます。

私は毎年1回、アンケートはがきを地域の皆様にお配りしているのですが、この度、中学生から初めて返信ハガキをいただきました。返事の内容は某駅の「トイレが暗すぎて、利用しづらい」また「定期券の券売機がなくて困っている」というものでした。高陽から市内中心部の中学校に列車で通われているようです。

山内まさあきの 徒然活動日誌